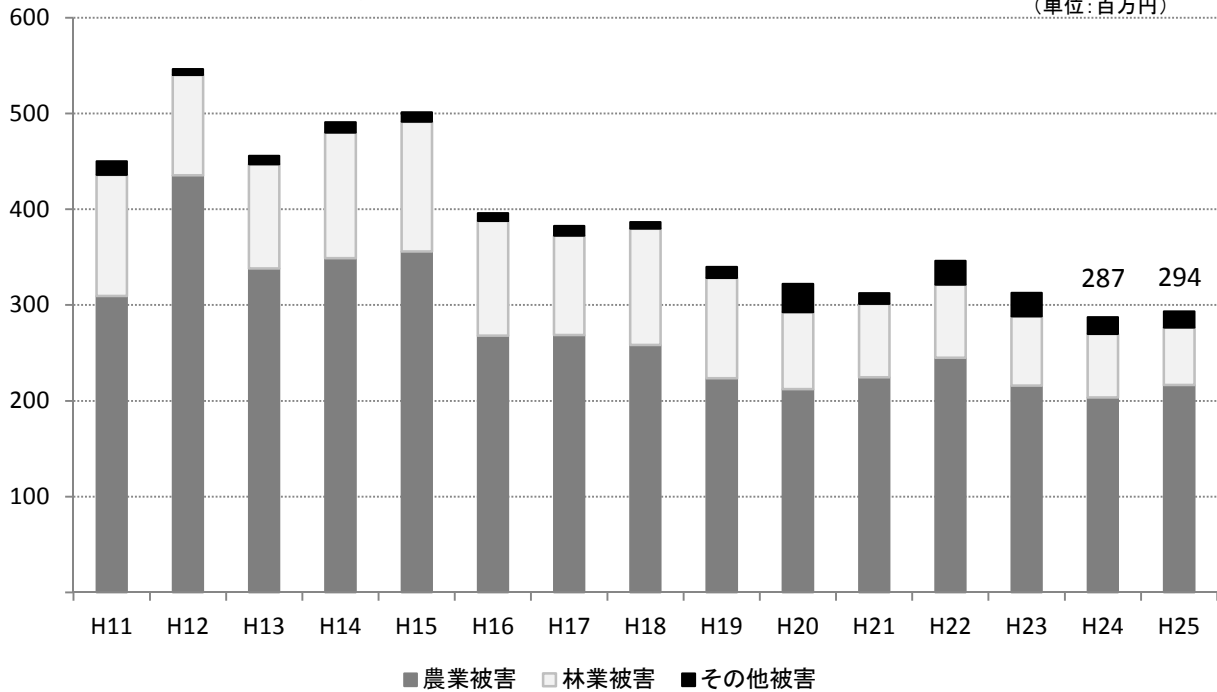


# 平成25年度の鳥獣被害金額及び鳥獣捕獲数について

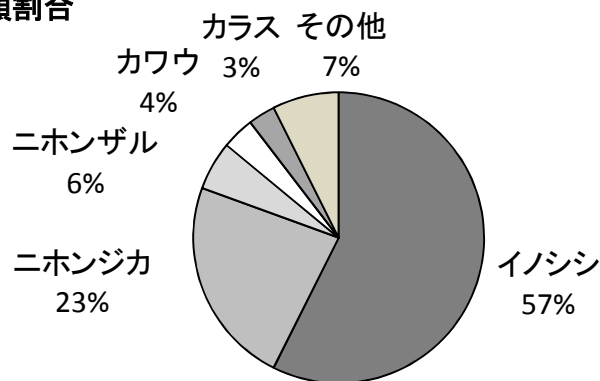
## ○鳥獣被害金額推移

平成25年度は、2億9,400万円(前年度より700万円の増加)となった。  
 原因は、イノシシによる農業被害が増加したため。

(単位:百万円)



## ○加害鳥獣別被害額割合



## ○捕獲頭数の推移

イノシシは、前年度より2,500頭上回る25,172頭となった。また、シカは、前年度を1,800頭上回る32,391頭で最高の捕獲数となった。

(単位:頭)

区分		H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25
イノシシ	狩猟	13,297	14,823	12,660	14,890	10,111	8,294	9,979
	有害捕獲	4,446	5,299	5,885	11,288	11,204	14,290	15,010
	計	17,743	20,122	18,545	26,178	21,315	22,584	24,989
シカ	狩猟	6,574	8,734	6,966	7,612	5,621	7,499	8,237
	有害捕獲	3,085	4,176	12,757	16,039	22,190	23,098	25,180
	計	9,659	12,910	19,723	23,651	27,811	30,597	33,417

# 有害鳥獣捕獲における報償金制度について

注：有害鳥獣捕獲に従事する友会員の捕獲意向上と散弾の購入費、材料費、日当について間接的な補填を図る。

・平成26年度の報償金単価と開始年度

	期外	期内	開始年度
イノシシ	6,000 円	—	H 5 ~
シカ	10,000 円	10,000 円	H 1 0 ~
アライグマなど小動物 ※基金のみ	1,000 円	1,000 円	H 2 5 ~
サル ※基金のみ	8,000 円	8,000 円	H 2 6 ~

小動物：アライグマ・アナグマ

・イノシシの捕獲報償金内訳

・シカの捕獲報償金内訳

期外(3.16~10.31)		期内(11.1~3.15)		期外(3.16~10.31)		期内(11.1~3.15)	
6,000円/頭		報償金なし		10,000円/頭		10,000円/頭	
基金	3,000		基金	2,000	基金	6,000	
市費 村費	3,000		基金		基金		
			費	4,000	費	2,000	
			市費 村費	4,000	市費 村費	2,000	

※基金：鳥獣害防緊急捕獲対推進交付金（国のH24v）  
・事業期間：H 2 5 ~ 2 7 年度

# ドロップネットによるシカの有害鳥獣捕獲について

1. ドロップネットの構造: 網をワイヤーで吊り下げ、ワイヤーにつないだ電磁石を作動させることによって網を落として、シカを捕獲するワナ。



- ドロップネットの特徴
- ① 設置・移設が容易
  - ② 餌付けが必要
  - ③ 別な捕獲技術が必要ない
  - ④ 少人数で効果的な捕獲

## 2. 捕獲の。

9月29日 30日 日出生小野原地区に設置  
 11月5日 ドロップネット作動(シカ8頭捕獲)  
 12/3(シカ7頭)、12/25(シカ5頭)、1/28(シカ2頭)

・赤外線カメラでの映像



・捕獲後の様子



・電圧一カッショメ刺し



・シカ8頭捕獲 (11月5日)

